

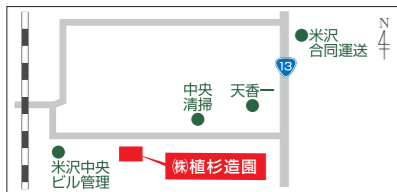


吉田 耕一 (よしだ こういち)
アウトドア派の吉田さんは、コロナ禍前には仲間と一緒にBBQや芋煮会を頻りに開催。また、幼少期からバスケットボールが得意で、息子さんが少年団に所属していたころには、少年団のコーチを務めていた程の腕前。今でも週に1度は社会人バスケットボールクラブで仲間と汗を流している。

メッセージ

当社は「緑を活かし、クオリティ・オブ・ライフの向上を目指す企業」を経営理念に掲げ、日々お客様に寄り添った質の高い仕事の提供を心掛けております。庭木の剪定、草刈り、芝刈り、施肥、消毒、雪囲いなどの造園業を中心に事業を展開しております。お庭のことならお気軽にお問い合わせください。

会社案内
株式会社植杉造園
■所在地 米沢市花沢3119-11
■TEL 0238-49-9788
■営業時間 7:45~17:15
■定休日 日曜、祝日
※その他会社カレンダーによる



育ちの悪いものを枝打ちする様子



高所作業者を使用してもみじの木を剪定



サラサドウダンの根巻き作業 (米沢市新庁舎)



庭師こだわりの商売道具



今年の春に施工した多肉植物が映える『ロックガーデン』

庭師の新たな可能性

株式会社植杉造園
代表取締役 吉田 耕一 さん

伝統的な日本庭園を守りながら、自由な発想の庭造りにも注力する株式会社植杉造園。今回は代表取締役の吉田耕一さんにお話を伺いました。

会社を受け継ぐ覚悟

吉田さんは、専門学校を卒業後に米沢の建築会社に就職。就職後は、現場監督の見習いとして住宅の構造や設計について勉強し、約1年で2級建築士に合格しました。その後、「身に着けた知識を活かして新しいことに挑戦できないか考えるようになった」と言います。そんなある日、吉田さんは庭を設計施工する『庭師』という仕事があることを知りました。異分野ではありませんでしたが、この仕事なら自分の学んできた建築デザインの知識が役立つと考え、転職を決意。転職後は、造園業の基本である草刈りや芝刈りなどの作業を経験しました。単純な作業にも真剣に取り組み姿勢と人当たりの良さが先輩方にも受け入れられ、新しい仕事をどんどん任されるようになりました。吉田さんは「庭木の剪定技術や樹木の移植など、事細かに教えてくれた先輩方のおかげで一人前の職人になることができた」と当時を振り返ります。吉田さんが転職して10年程が経ったある

多様化する要望に応える

これまで同社の仕事は、行政(市)から受託する公園や校庭の年間管理をはじめ、一般宅の庭木剪定、施肥、害鳥予防などが中心でした。しかし、最近では生活環境や趣味、嗜好の多様化に伴い、求められる庭のスタイルや要望も様々になってきました。吉田さんはこの動向の変化をいち早く察知し、建築士時代に培ったデザイン力でお客様の要望に応えようと努めます。昨年には、アメリカの園芸家「ターシャ・テューダーさん」の庭をイメージ

じた庭園を造ってほしいという依頼があったそうです。バラやシャクヤクの花をはじめ、様々な花々が咲き競う様子を再現することで、お客様に大変喜んでいただけたと言います。また、今年の春には自然の力強さとワイルドな雰囲気の魅力の『ロックガーデン』を手がけました。作業前にはプロとして、使用する岩石の種類や色、理想の配置などを伝えるなど、お客様と入念な打ち合わせをおこないました。また、シンボルツリーには米沢では珍しい多肉植物を植樹。寒さに強い品種を探すのは苦労したそうです。そうして逞しい岩石の中に多肉植物が美しく映える庭が完成しました。このように多様化する要望に応えることができるのは「社員の技術力のおかげです」と吉田さんは胸を張ります。

未来を見据える

最近、新型コロナウイルスの影響で家にいる時間が多くなり、園芸や家庭菜園などに興味を持つ若い方が少しずつ増えて

いるそうです。吉田さんは、「様々な世代の方が緑に関心を持ってくれることがとても嬉しい」と言います。一方で、人口減少による市内の空家増加で、敷地内に放置された樹木や植物が周囲に悪影響を及ぼすなどの心配もあるそうです。中には、相続放棄や所有者不明の物件だけでなく、所有者が県外に在住しており、定期的に家の手入れをすることが難しい場合などもあります。吉田さんは「このような課題を解決するために空家の庭などの年間管理にも力を入れていきたい」と話します。植物のプロが1年を通して、最適な時期に樹木の剪定や、除草剤の散布などを始めとする植物のメンテナンスをおこなうため、遠くにおいても安心して任せられることができます。また、建築士の経験を活かして建物の破損状況などを確認し、お客様にお伝えすることで建物の倒壊などの心配を減らすことができます。吉田さんは、こうした未来を見据えた取り組みで、地域課題の解決に貢献していきます。